

自治医科大学附属病院 移植・再生医療センターを紹介します！

自治医科大学附属病院では現在、5つの移植診療を行っています。肝移植、腎移植、脾移植、造血幹細胞移植(骨髄移植を含む)、角膜移植です。

これらを担当する診療科が連携し、移植医療の包括的な充実と発展を図ることを目的に、移植・再生医療センターが設置されています。センターには移植者(レシピエント)、臓器提供者(ドナー)の診療がスムーズに進むように調整し、また移植に関わるさまざまな問題に対応する移植コーディネータ(右写真)が配属されています。

■センターの目標

定期的に運営委員会を開催し、下記目標を達成するための計画を立案・実行しています。

- ・移植に共通する医学的、社会的問題点や研究テーマを共有し、診療、研究の総合的なレベル向上に努める
- ・移植医療の普及、促進のための啓発活動を行う
- ・院内における臓器提供体制のバックアップを行う



しもつけクイズ

問3 グリムの森クイズラリーでは何に関するクイズが出題される？

①動物
②植物
③童話

市民公開シンポジウム「第14回 栃木県の移植医療を考える」を開催

移植医療の啓発活動の一環として、年に1回、センター主催の市民公開シンポジウムを開催しています。移植医療の現況紹介のほか、特別講師として外部より救命救急医や脳神経外科医、薬剤師、日本臓器移植ネットワークコーディネーター、さらには、ドナー経験者でもある河野太郎氏をお招きし開催したこともあります。

今年は、第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会と共催し、「第14回 栃木県の移植医療を考える」の開催を予定しています。

■日 時 9月28日(日) 午後1時30分～4時

■場 所 ライトキューブ宇都宮 2階大会議室202(宇都宮市)

■入場料 無料

移植・再生医療センター センター長あいさつ

当院は、令和4年に成人の脳死肝移植施設、脾移植施設として認定され、現在、肝臓、腎臓、脾臓、小腸、腹部臓器すべてを包括的に移植できる施設となりました。国内では同様の施設は僅かで、病院としても積極的に臓器移植を推進しているところです。

全国的に見ると、令和5年には131例の脳死下臓器提供があり、令和6年はそれを超えるペースで臓器提供が行われています。当院でも令和6年には合計10例の脳死下での移植を行いました(=肝移植7件、腎移植1件、肝腎同時移植1例、脾腎同時移植1例)。しかし、県内での臓器提供はなく、栃木県臓器移植推進協会と協力してさらなる啓発活動に取り組んでいます。

臓器提供を推進するためには、市民の皆さまのご理解だけでなく、各病院への働きかけも重要です。数年前から厚生労働省、臓器移植ネットワークを中心に臓器提供施設連携体制構築事業が始まり、国も本格的に、脳死下での臓器提供推進に乗り出しました。我々自治医大も、自治医大さいたま、済生会宇都宮病院、足利赤十字病院さんと連携を組み、本事業に加わりました。

ご家族にとって、臓器提供は計り知れないほどの難しい決断であります。しかし、その後多くの命を救うということも事実であります。本事業を通して、我々移植・再生医療センターが臓器提供の現場との懸け橋になればと考えております。

自治医科大学 移植・再生医療センター
センター長 佐久間 康成